

人工知能は人間の「継続」になれるか

Klara and the Sun に見る AF 像と人間像

陳懌懿

1. はじめに

本発表では、Kazuo Ishiguro の *Klara and the Sun* の物語を取り上げ、未来社会を舞台にしている本作を、人工知能を備えたロボット (AF) の Klara や Josie の母親である Chrissie などの登場人物に焦点を当て、人工知能と人間の異同を考察する。遺伝子操作を受けた少女の Josie は、おそらくその副作用により常に体調を崩しており、それに気づいた Josie の母親 Chrissie は、Josie の「継続」を望んで AF の Klara を Josie の遊び仲間として購入する。Klara は自己犠牲や利他主義など、人間の美德を持っているが、一方で人間のような利己主義や自己欺瞞などの複雑な感情を持っていないと考えられている。Klara を代表する AF 像や、Chrissie などの登場人物の特質を分析することを通じて、人工知能が人間の「継続」になることが不可能であるという立場を論じたい。

2. Klara に見る AF 像

2.1 共感力と自己主張

商店での展示中、Klara は他の AF と異なり、抜群の観察力と強い好奇心を持っており、商店の窓からその世界を細部まで観察し、人間の感情を理解しようとしていた。最初は人間の行動を理解することが難しかったが、やがて人間の行動をより深く理解し、事情の裏に潜む感情を捉えることができ、自分にもそれと似たような感情、つまり共感力を持っていることに気付いた。

また、ショーウィンドーに並んでいた際、少女 Josie は Klara に強い興味を示し、Klara を買いに来ると約束した。Klara は Josie の到来を待ち続ける間、別の少女にも強い興味を示されたが、Klara はその少女の好意を断り、冷たく接した。その後、彼女は店長に AF としてお客に選ばれるしかできないと注意されたが、Klara は店長の言葉について疑問を抱きながら、自己の存在について考え、ある程度の自己主張を持っていることが分かる。

2.2 自己犠牲と利他主義

Josie の遊び仲間として購入された後、ある日 Josie の使いで、Klara は Josie の幼馴染 Rick の家を訪れ、そこで Rick の母親である Helen と出会った。Helen は Rick を大学に進学させたいと願い、その選択が自分の孤独を招くことを受け入れる姿勢を見せた。Klara はこれまでの認識を改め、Helen の自己犠牲を理解する。

Josie の健康のための太陽への祈りに効果がないことを Klara は悟り、“Cootings Machine”(26)の破壊を考える。そのためには自身の脳内の“P-E-G Nine solution”(226)が必要であり、その取り出しは自分に損害を与える可能性がある。しかし、Josie を優先し、Helen から学んだ価値観を胸に刻んで、Klara は自己犠牲的かつ利他的な行為に踏み出した。

さらに、Josie は遺伝子操作を受け、将来的には病気で亡くなる可能性が高いことがわかった母親の Chrissie は、Josie の行動や特徴などを Klara に学ばせ、Josie の内面を学習した人形を制作する計画を進めていた。Chrissie は Klara に対し、Josie を「継続」する意図を伝え、彼女への愛情を約束した。Chrissie は自分と Rick からの愛を通じて、Klara は特別であり、人々に愛される存在であると示唆する。しかし、Klara は Josie の健康を優先し、自己犠牲を決意した。Josie の苦しみを和らげるために祈り続け、“Cootings Machine”(26)を壊す考えも抱いた。最終的に、Josie は回復し、大人になり家を離れ、Klara の使命も終了した。

2.3 自己誠実

物語の結末で、Klara は“*There was something very special, but it wasn't inside Josie. It was inside those who loved her.*”(306)と語り、人間の内面的な特別さは人間関係、つまり他人とのつながりから生まれ、それを複製できないと認識した。彼女は人工知能と人間の違いを受け入れ、AF の身分に甘んじ、Josie に捨てられた運命を迎えた。

要約すれば、Klara は抜群な共感力を持ち、自らの存在に自己主張を見せ、人間との関係を深める。Josie の健康のために自己犠牲的な行動に出る中で、利他主義が浮かび上がる。最終的に、Klara は人間の特別さは愛とのつながりから生まれるものであり、これを複製できないと認識した。自己欺瞞を排し、Josie に捨てられたものの、Klara は AF としての運命を受け入れる。

3. 人間像

3.1 利己主義

Chrissie は長女 Sal に遺伝子操作を施し、恐らくその副作用で、Sal は病弱で亡くなった。しかし、Chrissie は次女 Josie にも同様の処置を施し、Josie の健康を犠牲にしてしまった。この行為は Chrissie が自分の欲望を優先している可能性を示唆している。Josie 本人は遺伝子操作に反対していないようだが、物語の描写からは、それが母親 Chrissie の独断であることが読み取れる。また、Josie が亡くなった場合、Chrissie は Klara に Josie の「継続」を願った。Chrissie は Klara に対し、自身の感情の慰めを求め、Josie の代わりとして愛されることを期待していた。Chrissie の“Continue Josie for me.” (213) という言葉には利己的な要素があり、自身の感情を最優先し、Klara に Josie の役割を担わせようとする傾向が見られると考えられる。

3.2 自己欺瞞

Chrissie は、その危険性を知りながらも Josie に遺伝子操作を施し、長女 Sal の死を経験しているにもかかわらず、同じ選択をした。この行動は、彼女が自己欺瞞に陥っている典型的な例であると考えられる。Chrissie は Klara に Josie の「継続」を期待し、この決断によって自分の感情を慰め、現実の辛さから逃れようとしていた。しかし、Josie の父親である Paul は Chrissie が Klara を Josie の「継続」として受け入れないだろうと予測し、Chrissie の自己欺瞞を指摘している。さらに、Chrissie は遺伝子操作を受けていない Rick を揶揄しているが、実際には娘に遺伝子操作を施したことに後悔の気持ちを秘めている可能性がある。Chrissie は Sal の死を経験してもなお、自己欺瞞にとらわれ、自身の選択に対する疑念や後悔を直視できないことも、彼女の自己欺瞞の一環であると考えられる。

自己欺瞞という特質は Chrissie だけでなく、Rick の母親 Helen にも見られると考えられる。Helen は息子 Rick の将来のために全力で尽くし、昔の恋人 Vance に息子を大学に進学させるよう頼み込んだ。Vance は Rick の希望校の有力な委員であり、その立場から大学進学に影響を与える可能性がある。過去に Vance に対して不快な行動を取り、彼の感情を傷つけたにもかかわらず、Helen は Vance が Rick に助けてもらえることを期待し、その期待が非現実的であることを認識できなかったことから、Helen の自己欺瞞が見られると言えるだろう。

要するに、人間は自己犠牲や他者への利他的な存在である一方で、人工知能を搭載した AF の Klara とは異なり、利己主義的かつ自己欺瞞的な存在でもある。

4. 結論

AF の Klara は自己犠牲や利他主義など、人間の美德を持っているが、一方で人間のような利己主義や自己欺瞞などの複雑な感情を持っていないことが分かる。物語の中で、Josie の父親である Paul は人間の心を「部屋」という比喻で説明し、Klara に対して以下のように語る。

‘But then suppose you stepped into one of those rooms,’ he said, ‘and discovered another room within it. And inside that room, another room still. Rooms within rooms within rooms. Isn’t that how it might be, trying to learn Josie’s heart? No matter how long you wandered through those rooms, wouldn’t there always be others you’d not yet entered?’ (219)

Paul の話によれば、人間の心は非常に複雑であり、その複雑さには限度がなく、AF の Klara はその全てを理解することはできないと彼は考えている。

また、Klara は Josie を再現することができるが、Josie の「継続」として人間関係、つまり他人とのつながりを継続することはできないだろう。Klara が代表する AF 像、及び Chrissie などの登場人物に見られる人間像を考察することで、本発表において、人工知能は人間の「継続」になることが不可能であるという結論が導かれる。

テキスト

Ishiguro, Kazuo. *Klara and the Sun*. London: Faber and Faber, 2021.

引用文献

福原俊平「心と心臓 —— 『クララとお日さま』における文学と科学」『福岡大学人文論叢』第 54 巻, 第 1 号, 2022.

カズオ・イシグロ著『クララとお日さま』土屋政雄訳, 早川書房, 2021.

Knight, Will. “‘Klara and the Sun’ Imagines a Social Schism Driven by AI.” *WIRED*, 8 Mar. 2021, www.wired.com/story/kazuo-ishiguro-interview.